



発行・編集: 福祉のネットワーク永山 事務局:(社福)多摩市社会福祉協議会

TEL: 042-373-5616

令和5年6月

福祉のネットワーク永山だより

~誰もが安心して暮らせる地域を目指して~

「まち歩き」の遠出再開

「福祉のネットワーク永山」の活動として毎月第2火曜日と最終火曜日に「まち歩き」を実施して います。

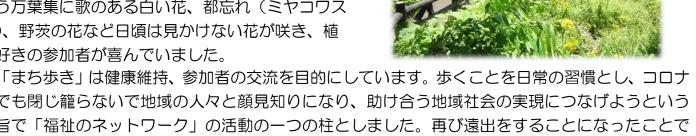
コロナ禍で、電車を使う遠出を避け、多摩市周辺地域のまち歩きを続けてきました。年明けから感 染者が減ってきた状況をみて、1月31日の「まち歩き」では世田谷の下北線路街に出かけました。 小田急線下北沢駅をはさむ東北沢駅と世田谷代田駅間の線路の地下化に伴い地上の線路跡が整備さ れて細長い街になっています。多摩市周辺の似たようなコースの歩きと違い、初めて見る街には非日 常性の楽しみがあります。



また 2月28日には神奈川県の松田町へ河津桜(写真)を見 に行きました。知る人ぞ知る松田町の河津桜ですが、「関東の富 士見百景」に選定されている西平畑公園の山の斜面に咲いてい ます。参加者全員が坂道の列に加わりながら花見をしました。 「まち歩き」に参加する人たちは元気に坂道も上ることができ ました。

4月からは新型コロナウィルスが 5 類に変更になったこともあり、正式に「まち歩き」の遠出再 開を決定しました。

4月11日は八王子市の高尾駅から歩いて多摩森 林科学園へ。5月は調布市の深大寺・神代植物公園 へ出かけましたが、京王線つつじが丘駅から深大寺 まで3km 余りを歩きました。途中で深大寺自然広 場の野草園(写真)に立ち寄りました。ムラサキと いう万葉集に歌のある白い花、都忘れ(ミヤコワス レ)、野茨の花など日頃は見かけない花が咲き、植 物好きの参加者が喜んでいました。



禍でも閉じ籠らないで地域の人々と顔見知りになり、助け合う地域社会の実現につなげようという 趣旨で「福祉のネットワーク」の活動の一つの柱としました。再び遠出をすることになったことで 「まち歩き」が楽しくなります。

参加者は背中のバッグに緑色、世話人は赤色のバンダナを付けて歩いています。永山、近隣地域の 皆さんの新たな参加をお待ちします。

瓜生小下校見守り

地域活動のご紹介♪

小学校の新一年生の下校時の不安解消のため、「地域の中で子どもたちの下校時の見守りができないか」という声を受け、4月から約3週間、瓜生小学校の新一年生の下校見守りを実施しました。

子どもたちの安全を守るだけでなく、地域の中で顔が見える関係性 構築の一端も担っています。

【瓜生小の先生からのコメント】

初日には、大変多くの地域の皆様にご協力いただき、子どもたちがどれだけ多くの方にお世話になっているかということに改めて気付くことができました。子どもたちも昇降口を出た時に、見守ってくださる方がいた際には、とても安心している様子がありました。子どもたちが、「もう自分たちだけで帰れる」という自信がつくまで、近くで(といっても近づきすぎず)見守ってくださったことに感謝しています。今後は、通りがかりの見守りをぜひともお願いしたいと思っております。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



福祉のネットワーク永山とは

☆福祉のネットワーク永山の事業で新たな仲間づくりを!

福祉のネットワーク永山は、永山地区の各団体や住民同士が連携することで様々な地域課題に向き合い、 取り組んでいます。皆さまのご参加お待ちしています!

☆福祉のネットワーク永山 今後の予定

- ●定例会:奇数月第3土曜日 10 時~12 時 諏訪地区市民ホール
- ●瓜生小地区防災組織担当者連絡会:偶数月第2土曜日など
- ●永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会:偶数月第3土曜日など
- ●まち歩き:毎月第2・最終火曜日 10時永山南公園集合
- ●見守りさんぽ:毎週月曜日 15時30分集合 瓜生地区:グルメシティ前 (永山商店街内) 永山地区:グリナード永山2Fマクドナルド前
- ●体操サロン:毎月第2水曜日13時30分~15時30分

諏訪地区市民ホール他



△まち歩きの様子

<ま・ち・か・ど>

永山 5 丁目にある都立永山高等学校は、施設の老朽化が進んでいたことから、新校舎の建設が行われ、今回グラウンド改修工事が始まりました。工期は令和 5 年 3 月から令和 5 年 10 月までの予定です。



5 月から外構解体工事として植栽撤去、グラウンド表層撤去、雨水配水撤去工事が行われ、7 月からグラウンドの舗装や付帯施設新設工事が行われます。工事期間中は搬出入作業のため 10t 車が 1 日に 10 台から最大 50 台地域を出入りします。詳しい説明を希望される近隣住民に対しては、個別に訪問して説明するそうです。どんな形の新しいグラウンドになるか、この秋の楽しみのひとつです。